

広田みよ

で質問しました!

*議会改革により、今回から「一問一答」と「一括質問」が選べるようになりました。



子育て新制度」で水準下げないで!

市場任せの制度設計である「子ども・子育て支援新制度」は要望の 多い認可保育園を増やさず、お子さん、親御さん、そして現場のため になるのかどうか不安の声が聞かれます。本市は現行の水準を守る とともに、国へ問い直すことも必要であり、保護者や現場へ周知徹 底、ご意見も伺いながらすすめるべきです。



保育水準

新制度は保育水準切り下げが危惧されている。 保育部会や審議会、保護者からの「金沢の保育 水準を下げないで」という要望に応えるべきで は?

市長 金沢の保育水準を下げることなく、引き続 き子育て環境の充実に努めていく。

入所緩和

保育認定の育児休業を取得時の上のお子さん の扱いは、原則3歳児以上しか継続利用を認 めていない。また、妊娠中の上のお子さんは産 前8週からの入所だが、今後どうなるのか。

育児休業取得時は年齢に関係なく継 続利用でき、妊娠中であれば、妊娠の週数に 関わりなく認めることとした。

認定こども園

認定こども園は市町村の責任が外れ、教育と 保育の時間調整が必要なことを知らせ、市が 移行を推奨する立場をとらないよう配慮が必 要では?

市長 各幼稚園や保育所が自主的に判断するもの で、本市から移行を強く求めることはない。



金沢市から パンフレットも配布。 ネットでも見られます。

上乗せ料金

保育料とは別に追加サービスや教材に「上乗せ 料金」が徴収できることになっている。お子さ んの保育や教育に格差がついてはならず、見直 すべき。

市長 事業者と市の協議の場を通して、適切な 運用に努め、保護者の負担にできるだけならない ように協議する。



運動の

成果です

土砂災害対策を急いで!

伊豆大島や広島など全国各地で土砂災害が頻発し、本市でもこの間、 森本、神谷内、夕日寺、鈴見台などで災害が起きています。住民の命を 守る立場から国への要望や市としての対策を急ぐべきです。



危険箇所調査

全国約52万ヶ所の危険箇所で、 調査が終わったのは約38万ヶ所 と約68%にしかすぎない。本市 の進捗状況と、警戒区域と特別 警戒区域の数は?

市長 土砂災害警戒区域は495 ヶ所、特別警戒区域は379ヶ所の 指定が完了。避難地図を作成し、 住民に危険性や早期避難の重要 性を呼びかけている。

区域指定外での住民負担

区域指定外の場所で防災工事 が必要な場合も、住民負担が重 くすすまない現状がある。市独 自のがけ地防災工事補助をもつ と使いやすく充実すべき。

度重なる災害で市民から の不安も強い。助成制度の充実 についても研究をさせていただき たい。



10.5広島市の土砂災害の様子

公共交通施策の充実を!

新幹線開業に向けてイベントが増え、交通渋滞は本市の交通機能を 麻痺させています。新金沢交通戦略では「自動車に依存したまちから、 歩行者と公共交通を優先したまちづくりを目指すしとしていますが達成 できていません。



渋滞対策

21世紀美術館での木梨憲武展では5万人が訪 れ、大きな交通渋滞が発生した。共産党市議 員団は、公共交通の利用促進のため、料金見 直しやルート拡充を求め、パークアンドライド 等でまちなかへの車の流入を減らすことを提 案している。

市長 利用者が増えないと料金見直しやルート 拡充は採算性の問題で困難。GWや年末はパー クアンドライドや公共交通利用をさらにうながし ていきたい。

ふらっとバス

民間の公共交通の高い料金、ルー トの少なさが利用率の悪さを生 み、料金も上げるという悪循環。 市民の要望も強いふらっとバスの ルート拡充で、買い物難民の方へ の支援を強めるべきでは?

市長 ふらっとバスの郊外ルート も採算性の確保等に難しい課題 がある。一方で今年度から地域で のバスの活用を市として支援して いる。



志賀原発事故の当事者意識を!

大飯原発3・4号機の運転差し止めを命じた、画期的な福井地裁判決 は、半径250km圏内の住民の人格権侵害を判決理由としています。 福島事故での広範囲の被害を見るまでもなく、金沢市も志賀原発の 影響を受ける危険性がある当事者という視点で、今後防災訓練に臨 むべきです。さらに本市の全国唯一の公営ダム・水力発電を活用し、 志賀原発は再稼働させず、廃炉を求めていくべきです。



当事者としての訓練を

福島事故で被害を受けた福島市や郡山市は、本 市の45km地点の森本より遠い。原発事故の防 災訓練を避難受け入れや紙面上のヨウ素剤配布 だけでなく、被害を受ける当事者としても行うこ とが必要ではないか。

市長 11月実施の県の原子力総合防災訓練では、 市独自の初動対応訓練と、地上での模擬訓練、安 定ヨウ素剤の搬送・調合、モニタリングなど実働訓 練を予定している。

-歩前進 です!

再稼働させない決断を

「人格権は原子炉等規制法の上位にある」とした 大飯判決の重要性を真摯に受け止め、志賀原発 は再稼働すべきでないという立場を鮮明にし、廃 炉を求めていくのが市民の命と暮らしを守る首長 のつとめではないか。

市長 北陸電力の株主としても、安全と併せて良質 な電気の安定供給を望みたい。志賀原発の再稼働 は、断層調査の結果をふまえ、国の厳格な判断を待 ちたい。



屋内退避所内の放射線防護カーテン(志賀町)



ヨウ素剤の配布(金沢市)



空間線量のモニタリング(金沢市)